SPF アメリカ現状モニター 論考一覧

※タイトルをクリックすると論考のページに移動します



https://www.spf.org/jpus-j/spf-america-monitor/

📌 米国選挙(中間選挙・大統領選挙)関連論考などまとめ 📌

No. 223　2026/11/16

タラリコの最終集会に参加する
―「怒り」ではなく「愛」を訴えた選挙前夜―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 222　2026/11/11

タラリコの原点を歩く②
キリスト教信仰と政治理念

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 221　2026/11/10

タラリコの原点を歩く①
テキサスの少年から政治家へ

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 220　2026/11/2

トランプ以降、われわれは誰を知識人と呼ぶのか

井上　弘貴
神戸大学大学院国際文化学研究科教授

No. 219　2026/10/16

予算を止める権力―第二次トランプ政権による執行留保―

梅川　健
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 218　2026/10/13

「アバンダンス」の復活
―歴史の中で民主党内主導権争いを考える―

久保　文明
東京大学名誉教授

No. 217　2026/10/7

「トランプ 2.0 のアメリカ」共和党編④
MAGA 研究④：リバタリアンとトランプ

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 216　2026/10/5

連邦議会下院の選挙区再区割り
―2026 年中間選挙に及ぼす影響―

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 215　2026/9/26

「トランプ 2.0 のアメリカ」共和党編③
MAGA 研究③：ティーパーティ分裂要因としてのイスラエル・イラン政策

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 214　2026/9/26

民主党は「愛国心」を取り戻せるか
―退役軍人と 2026 年中間選挙―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 213　2026/9/10

東南アジアでソフトパワーを失う米国
―日本の同盟政策への示唆―

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 212　2026/8/7

第 2 次トランプ政権の外交・防衛（6）
―北京米中首脳会談後の日米中関係（後編）―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 211　2026/8/7

第 2 次トランプ政権の外交・防衛（6）
―北京米中首脳会談後の日米中関係（前編）―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 210　2026/8/7

「トランプ 2.0 のアメリカ」共和党編②
MAGA 研究②：「改革党」メディア候補たち：ブキャナン、ペロー、トランプ

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 209　2026/8/7

「トランプ 2.0 のアメリカ」共和党編①
MAGA 研究①：インフルエンサーMAGA vs 草の根 MAGA？：「トランプ 4 本柱」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 208　2026/7/16

イラン攻撃と「フエンテス」問題に揺れるアメリカ右派知識人

井上　弘貴
神戸大学大学院国際文化学研究科教授

No. 207　2026/7/14

イラン攻撃の法的正当性
―アメリカ大統領はいつでも戦争を始められるのか―

梅川　健
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 206　2026/7/7

キリスト教ナショナリズムと「愛の政治」
―タラリコは民主党の未来なのか―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 205　2026/7/6

米国のイラン攻撃の「失敗の本質」
―反パウエル・ドクトリン？―

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 204　2026/6/26

トランプ、G7 サミット、そして国際秩序

久保　文明
東京大学名誉教授

No. 203　2026/6/17

第 2 次トランプ政権の外交・防衛（5）
―北京米中首脳会談と台湾問題―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 202　2026/6/17

第 2 次トランプ政権の外交・防衛（4）
―2026 年 5 月の北京米中首脳会談―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 201　2026/5/3

「トランプ 2.0 のアメリカ」民主党編④
民主党流派の「内政」新分類学：「新世代」から「アバンダンス」まで

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 200　2026/5/1

「トランプ 2.0 のアメリカ」民主党編③
民主党を驚愕させた有権者調査：「労働者の党」か「エリートの党」か

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 199　2026/5/14

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑬
臨床医から見た個人と社会の問題

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 198　2026/5/7

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑫
分断されたケアの制度

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 197　2026/4/13

ヴァンス・共通善・イラン戦争
―カトリック社会思想研究者が語るアメリカ政治―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 196　2026/4/13

アメリカ政治とカトリック
―「カトリック票」は存在するのか―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 195　2026/3/27

第 2 次トランプ政権下の赤い州
―ネブラスカ州リンカン市からみたアメリカ外交と世界―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 194　2026/3/25

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑪
薬物政策の中で繰り返し登場する「危険な他者」

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 193　2026/3/25

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑩
歴史的に繰り返す社会不安と薬物規制

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 192　2026/3/24

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑨
薬物統治史の中のトランプ

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 191　2026/2/20

トランプ政権のベネズエラ攻撃とグリーンランド購入姿勢をどう見るか？

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 190　2026/1/22

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑧
大量破壊兵器としてのフェンタニル、その政治的意味とは？

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 189　2025/12/24

ウクライナ停戦・和平交渉の決まりパターンが示唆するトランプ外交の本質

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 188　2025/12/2

「トランプ 2.0 のアメリカ」民主党編②
挙党的バイデン叩きと「嘆きの党」民主党の今を彩る３冊の「暴露本」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 187　2025/12/2

「トランプ 2.0 のアメリカ」民主党編①
迷走の民主党 20 年越し「デジャブ現象」とマムダニ勝利

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 186　2025/10/8

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑦
フェンタニルを止めろ！

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 185　2025/9/12

第２次トランプ政権の外交・防衛（３）
―日米関税合意の意義と今後の日米関係の課題(後編)―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 184　2025/9/12

第２次トランプ政権の外交・防衛（３）
―日米関税合意の意義と今後の日米関係の課題(前編)―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 183　2025/7/15

トランプ大統領のイランの核施設空爆を考える

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 182　2025/7/8

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑥
「米国へのフェンタニル密輸、日本経由か」の衝撃

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 181　2025/3/13

第二次トランプ政権の政権運営と不法移民対策

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 180　2025/2/19

日米首脳会談から米同盟国が学べる点

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 179　2025/2/15

アメリカを揺さぶるオピオイド危機⑤
トランプの関税政策と違法薬物問題との「ズレ」

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 178　2025/1/10

第２次トランプ政権の外交・防衛（２）
―ロシア・ウクライナ戦争をめぐる停戦外交とそのインプリケーション―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 177　2024/12/27

トランプを支持したヒスパニック系移民の「裏切り」
―１人の学生から見たアメリカ―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 176　2024/12/24

トランプ政権 2.0 の関税政策の二律背反を考える
―関税か物価抑制か？

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 175　2024/12/11

第二次トランプ政権 vs 大学
―「保守的」な教員を雇うとはどういうことか？―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 174　2024/11/27

民主党とリベラリズム―2024 年米大統領選の敗因は何か

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 173　2024/11/25

第 2 次トランプ政権の外交・防衛（1）
―抑制主義者と優先主義者の安全保障観と同盟国へのインプリケーション―

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 172　2024/11/21

「イスラエルに未来はあるのか？」
―ガザ紛争をめぐる国内対立を克服するために―

山岸 敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 171　2024/11/20

保守的な判決が続く連邦最高裁、バイデンによる改革案の背景にあるものとトランプ 2.0

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 170　2024/11/14

同性愛者とアメリカ大統領選挙
―LGBTQ コミュニティの分断作戦の背景

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 169　2024/11/10

トランプ主義に取り込まれる大学生
―ハリスが負けた一つの要因

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 168　2024/11/7

アメリカン・デモクラシーは修復できるか？
―トランプ政権二期目を前に

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 167　2024/11/2

「北風と太陽」でハリス陣営を揺さぶる左派：地雷としてのイスラエル政策

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 166　2024/10/30

カマラ・ハリス　3 つの悩み：民主党史上最強の「ドリームチーム」か脆弱な「パッチワーク」か

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 165　2024/10/29

「トランプ党」完成化とケネディ支持派のリバタリアン合流

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 164　2024/10/10

ウォルズ夫妻と中国：天安門事件の年から、広東とチベットに広がった「物語」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 163　2024/10/8

10 月 7 日ハマスのイスラエルへのテロから一年：中東と国際秩序は危険水域に入った

渡部　恒雄
笹川平和財団上席フェロー

No. 162　2024/10/7

ヴァンスはオバマと同じ「物語候補」
Dreams from My Father と Hillbilly Elegy

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 161　2024/8/28

カマラ・ハリスの外交課題

森　聡
慶應義塾大学法学部教授

No. 160　2024/8/27

J.D.ヴァンスの副大統領指名と共和党のトランプ党化、その限界

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 159　2024/8/12

医療保険をめぐる政治の「地滑り」
―ハリス、ワルツ、ヴァンスの影響

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 158　2024/8/12

民主党左派とカマラ・ハリス：「擬似サンダース政権」継続圧力と予備選の洗礼なき指名の功罪

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

【特別転載】　2024/8/5

アメリカのエスニック「部族主義」
ハリスとオバマともうひとつの人種問題

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 157　2024/7/2

【特別シリーズ】2024 年台湾総統選挙とアメリカ④
メディア戦略の国際比較：台湾版「ヒナギク CM」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 156　2024/7/2

【特別シリーズ】2024 年台湾総統選挙とアメリカ③ メディア戦略の国際比較：「2020 年の香港」無しの戦い

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 155　2024/7/1

アメリカ大統領選挙 TV ディベートの「乱」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 154　2024/6/13

【特別シリーズ】
2024 年台湾総統選挙とアメリカ②
「チャイナ・ホーク」候補敗北と「疑米論」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 153　2024/6/13

【特別シリーズ】
2024 年台湾総統選挙とアメリカ①
アイオワと台北「選挙日程の政治学」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 152　2024/5/9

2024 年、予備選はあってなきが如し？：
本選は異例の「大統領」同士のリマッチ（再対戦）に

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 151　2024/4/4

＜特別寄稿＞
カート・キャンベルの対ロシア戦略観【前編】
カート・キャンベルの対ロシア戦略観【後編】

畔蒜　泰助
笹川平和財団主任研究員

No. 150　2024/1/18

移民問題に新展開？民主党系市長・州知事の反発とウクライナ問題

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 149　2024/1/12

ウクライナ・イスラエルでのバイデンの苦境
―背景に民主党の分裂

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 148　2023/12/26

大統領候補者が「不測の事態」に陥ったら・・・

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 147　2023/11/30

バイデン政権の中南米外交の現状―インド太平洋政策との比較

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 146　2023/11/2

2024 年予備選挙目前報告④
共和党編その２：大統領経験者としてのトランプと共和党候補者たち

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 145　2023/11/1

2024 年予備選挙目前報告③
共和党編その１：党内４派トランプ評、対イスラエル攻撃「before」「after」

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 144　2023/10/27

米国におけるアイデンティティ政治
―分極化と混迷の根底にあるもの―

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 143　2023/10/26

分極化時代の連邦最高裁判所―その正統性をめぐって

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 142　2023/10/25

2024 年予備選挙目前報告②
民主党編：バイデン再選戦略：「トランプ頼み」の党内結束

渡辺　将人
慶應義塾大学総合政策学部准教授

No. 141　2023/10/25

2024 年予備選挙目前報告①
民主党「党員集会」消滅とポスト・コロナ時代の余波

渡辺　将人
慶應義塾大　学総合政策学部准教授

No. 140　2023/10/3

「バイデンは 2024 年選挙に出馬すべきではない」身内からの声

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 139　2023/7/28

積極的差別是正措置の終焉

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 138　2023/7/10

バイデン外交の柔軟な現実主義を反映する対インド政策

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 137　2023/6/28

米連邦最高裁判所とアラバマ州連邦下院選挙区割り―保守派判事の驚きの判断の背景―

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 136　2023/6/23

初等中等教育をめぐる文化戦争と 2024 年大統領選挙―批判的人種理論、トランスジェンダー、マスク―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 135　2023/5/10

2024 年大統領選挙におけるオバマケア

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 134　2023/4/20

2024 年米大統領選挙、予備選挙の「異変」：アイオワ党員集会が消える？

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 133　2023/4/7

2024 年大統領選挙を理解するために―アダム・シャインゲイト教授に聞く―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 132　2023/3/24

議会の過激な対中強硬シフトを懸念するワシントンの専門家

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 131　2022/12/28

ロン・デサンティスは 2024 年大統領候補になることができるか？―2022 年中間選挙出口調査から見て取れる強さと弱さ

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 130　2022/12/27

追悼：中山俊宏教授が拓いたアメリカ政治「３つの往復」

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 129　2022/12/26

中間選挙結果はバイデン外交にどう影響するか？

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 128　2022/12/15

ロン・デサンティスと文化戦争―ディズニーとの対決は収束するのか？

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 127　2022/12/13

2022 年中間選挙最大の勝者ロン・デサンティスとは何者か？

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 126　2022/12/12

民主党が危ない？「リンカンの党」共和党へ回帰する黒人票

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 125　2022/10/28

日朝外交 20 年―「アメリカ要因」再考―

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 124　2022/10/19

2022 年中間選挙を目前に控えて

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 123　2022/9/16

故中山俊宏教授が示した日米同盟における価値観とは？

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 122　2022/9/13

学生ローン版「徳政令」をめぐる政治的争い

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 121　2022/7/25

共和党を支持する中南米系女性が増加中？ ―米国のエスニシティ政治の複雑性―

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 120　2022/7/14

米国連邦最高裁判決と党派性

西山　隆行
成蹊大学法学部教授

No. 119　2022/7/12

中間選挙の「地雷争点」としてのオバマケア

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 118　2022/7/8

中東とアフリカでの米国の影響力低下とバイデン外交

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 117　2022/3/11

公立学校における「マスク戦争」で見えた教育問題

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 116　2022/3/10

ロシアによるウクライナ侵略とアメリカ（1）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 115　2022/3/8

ロシアのウクライナ侵攻へのバイデン政権の長期戦略とは？経済制裁の行方

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 114　2022/2/3

エマニュエル駐日大使の人物像：シカゴ政治の文脈から

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 113　2022/1/18

きたるべきアメリカにおける「内戦（シビル・ウォー）」

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 112　2022/1/17

コロナ禍で試された日本の留学生誘致政策の本気度
―アメリカの現状との比較から―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 111　2022/1/14

中ロに対峙する 2022 年のバイデン外交と日米同盟の意義

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 110　2021/11/16

バージニア州知事選挙における民主党の敗退から見えてくるもの

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 109　2021/11/8

デジタル技術と政治の新潮流（番外編）
オードリー・タンと語る
「Democracy, Social Media and America」

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 108　2021/11/8

デジタル技術と政治の新潮流（後編）
台湾の政治現場との比較から

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 107　2021/11/8

デジタル技術と政治の新潮流（前編）
インフルエンサー選挙とは何か

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 106　2021/11/5

インド太平洋におけるバイデン政権の対中バランシング
―最近の主な取り組みと日本の課題―

森　聡
法政大学法学部教授

No. 105　2021/10/28

世論調査にみる米国人の外交認識
内向きだがアメリカ・ファーストではない

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 104　2021/10/27

アジア系アメリカ人とアメリカ政治

西山　隆行
成蹊大学学長補佐／法学部教授

No. 103　2021/10/21

医療扶助大国アメリカ

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 102　2021/8/27

バイデン政権を悩ますハリス副大統領という難題

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 101　2021/8/5

バイデン政権の対イラン JCPOA 間接交渉が示す柔軟な現実主義

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 100　2021/8/5

アメリカをめぐる 4 つのナラティブと国際主義

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 99　2021/8/3

アメリカを揺さぶるオピオイド危機④
「絶望」にはワクチンも治療薬もない

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 98　2021/6/11

トランプとバイデンについて
オバマ回顧録論⑦

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 97　2021/6/11

オバマにとっての北朝鮮と中国
オバマ回顧録論⑥

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 96　2021/6/11

諸外国と「文化」言及のジレンマ
オバマ回顧録論⑤

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 95　2021/6/11

政権の「公式写真集」として
オバマ回顧録論④

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 94　2021/6/7

バイデン政権と「民主的連帯」の外交をめぐる論議

森　聡
法政大学法学部教授

No. 93　2021/5/27

米国の中東政策とミドルクラス外交

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 92　2021/5/25

バイデン外交 100 日の評価
―自由で開かれたインド・太平洋戦略の布石が打たれた

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 91　2021/5/24

バイデンは「火事場泥棒」か？「変革的大統領」か？

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 90　2021/4/28

政治教育者としての「スピンドクター」
オバマ回顧録論③

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 89　2021/4/27

作家オバマの「文学作品」として
オバマ回顧録論②

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 88　2021/4/14

バイデン外交は本当に日本にとって「満額回答」か？

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 87　2021/4/12

アメリカ大統領回顧録とは　オバマ回顧録論①

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 86　2021/3/10

シリアのシーア派武装勢力への武力行使から
バイデン・ドクトリンを考える

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 85　2021/3/8

「静かすぎる」バイデンケア

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 84　2020/12/24

茨の道を進む「バイデンケア」

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 83　2020/12/22

「ウォール街占拠運動 2.0」としての BLM：「新世代左派」と民主党の内紛危機

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 82　2020/12/21

バイデン次期政権とインド太平洋―青写真を読む―（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 81　2020/12/21

バイデン次期政権とインド太平洋―青写真を読む―（中編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 80　2020/12/21

バイデン次期政権とインド太平洋―青写真を読む―（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 79　2020/12/15

オースティン元中央軍司令官の国防長官起用をめぐる波紋：シビリアンコントロールを巡る左右からの批判

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 78　2020/12/15

バイデンの政治家としての気質とその可能性

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 77　2020/11/4

激戦のアメリカ大統領選挙と
コロナ感染拡大が損なう米国の求心力

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 76　2020/10/20

ギンズバーグ判事急逝の余波から
党内反乱分子問題まで

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 75　2020/10/7

ギンズバーグ連邦最高裁判所判事死去がアメリカ政治に及ぼす影響

西山　隆行
成蹊大学学長補佐／法学部教授

No. 74　2020/10/6

アメリカのリトレンチメント論争
―リベラル・ヘゲモニー戦略と「ブロブ」の功罪―（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 73　2020/10/6

アメリカのリトレンチメント論争
―リベラル・ヘゲモニー戦略と「ブロブ」の功罪―（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 72　2020/10/6

最強の候補、ジョー・バイデン？

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 71　2020/10/6

トランプ vs. バイデン、最後の戦い

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 70　2020/7/15

トランプ大統領が理解できない米国のシビル・ミリタリー関係

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 69　2020/7/9

「不作為のトランプ的空間」としての日本
日本におけるトランプ評価の特異性

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 68　2020/7/1

「バイデン政権」の外交を考える

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 67　2020/6/30

「警察予算を打ち切れ！」

西山　隆行
成蹊大学学長補佐/法学部教授

No. 66　2020/6/19

「プロチョイス・カトリック」のバイデン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 65　2020/6/15

アメリカを揺さぶるオピオイド危機③
新型コロナ感染症 vs. オピオイド依存症

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 64　2020/5/21

新型コロナウイルスで変容する選挙キャンペーン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No. 63　2020/4/27

新型コロナウィルス禍と当面の米中関係

森　聡
法政大学法学部教授

No. 62　2020/4/17

新型ウィルス感染が米軍を動かす「ソフトウェア」にもダメージか?

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 61　2020/4/15

サンダースと敗退した候補たち

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 60　2020/4/15

新型コロナウィルス禍とアメリカのマイノリティ

西山　隆行
成蹊大学学長補佐／法学部教授

No. 59　2020/4/14

新型コロナ、治療代が 820 万円！？
試されるアメリカ医療保険制度

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 58　2020/4/14

「戦時大統領」が含意するもの
－トランプ大統領と新型肺炎対策－

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No.57　2020/4/6

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：米台比較の視座から（④補論）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.56　2020/4/1

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：米台比較の視座から（③後編）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.55　2020/3/30

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：米台比較の視座から（②中編）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.54　2020/3/25

【特別シリーズ】台湾の選挙キャンペーン：米台比較の視座から（①前編）

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.53　2020/3/25

2020 年台湾総統選挙と米台関係

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.52　2020/3/19

【大統領選挙現地報告】ウォーレン撤退とリベラル票の争奪

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No.51　2020/3/11

【大統領選挙現地報告】バイデンの「復活」と黒人票「回帰」と「革命」で揺れる民主党

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授
ジョンズ・ホプキンス大学客員研究員

No.50　2020/2/13

【大統領選挙現地報告】民主党主要候補集会の特質分析②サンダース、ブデジェッジ

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No. 49　2020/2/13

【大統領選挙現地報告】民主党主要候補集会の特質分析①バイデン、ウォーレン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
ハーバード大学国際問題研究所客員研究員

No. 48　2020/1/29

結果オーライ？イランとの戦争回避はトランプの政治的勝利か

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 47　2020/1/24

米中フェーズ 1 合意と当面の米中関係

森　聡
法政大学法学部教授

No. 46　2020/1/24

ジャクポーアってなんだ！？
―トランプ大統領の多国間国際合意に対する不信感―

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 45　2019/12/5

民主党の候補者問題とアイオワ党員集会
「バーチャル・コーカス」導入中止

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 44　2019/11/6

シリア撤退の反響と懸念されるトランプ外交の次の一手

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 43　2019/10/31

恋する民主党

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 42　2019/10/25

消え去らない老兵：SuperAgers による大統領選挙

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授
ジョンズ・ホプキンス大学客員研究員

No. 41　2019/7/22

トランプ・ドクトリンの追加事項：イランとの緊張、
大阪 G20 サミット、米中・米露・米朝首脳会談を経て

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 40　2019/7/16

民主党大統領候補としてのジョー・バイデン

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 39　2019/7/10

討論会で見た民主党の苦境―医療保険改革のジレンマ―

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 38　2019/7/8

米大統領選、民主党候補第一回公開討論から
（かろうじて）見えてきたもの

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 37　2019/6/25

米中協議とファーウェイ、そしてトランプ
―大阪 G20 前に―

森　聡
法政大学法学部教授

No. 36　2019/6/24

「白人」対「白人」―イデオロギー的分極化の一側面―

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 35　2019/4/25

民主党版「オバマケア廃止（Repeal Obamacare）

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 34　2019/4/19

アメリカが後ろ向きになった時にどうするのか？：
同盟に代わる「プランＢ」をめぐる議論

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 33　2019/4/16

バーチャル・コーカス？：
アイオワ民主党の党員集会制度変更と含意

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 32　2019/2/8

マティス退任後の新トランプ・ドクトリンの可能性

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 31　2019/2/15

ワシントンにおける対中強硬路線の形成と米中関係（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 30　2019/2/15

ワシントンにおける対中強硬路線の形成と米中関係（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 29　2019/2/13

アメリカを揺さぶるオピオイド危機②

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 28　2019/2/13

民主党「穏健派」「リベラル派」の変容

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 27　2019/2/7

「弾劾（Impeachment）」について語り始めたアメリカ

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授
ウィルソン・センター ジャパンフェロー

No. 26　2018/11/27

貿易とテクノロジーをめぐる米中関係（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 25　2018/11/27

貿易とテクノロジーをめぐる米中関係（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 24　2018/11/13

2018 年中間選挙、注目票で振り返る

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 23　2018/11/12

2020 年大統領選挙に向けて民主党はどうなるのか？

西山　隆行
成蹊大学法学部政治学科教授

No. 22　2018/11/6

ペンス対中演説をどう読むか

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授
ウィルソン・センター ジャパンフェロー

No. 21　2018/11/6

ペンス演説はアメリカの対中戦略の転換を示すものか？

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 20　2018/11/1

中間選挙における重要争点：オバマケア

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 19　2018/7/27

民主党は「ポリティカル・コレクトネス」をどこまで追求するか

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 18　2018/7/26

米朝首脳会談再考と日朝の構図
―ジョージ・W・ブッシュ政権期との比較から―

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 17　2018/7/25

シンガポール米朝首脳会談と交渉プロセスの先行き

森　聡
法政大学法学部教授

No. 16　2018/7/25

トランプ外交の一貫性―シャルルボワ、シンガポール、ブリュッセル、ヘルシンキで見えてきたもの―

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 15　2018/7/18

アメリカを揺さぶるオピオイド危機①

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 14　2018/7/13

トランプ大統領の「先祖返り」外交の中東地域への影響

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 13　2018/5/15

民主主義の危機との共存？ソーシャルメディア選挙時代のジレンマ

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 12　2018/5/15

フロリダ銃乱射事件を機に、銃規制は進むのか？

西山　隆行
成蹊大学法学部政治学科教授

No. 11　2018/5/10

オバマケア、"low politics"へ

山岸　敬和
南山大学国際教養学部教授

No. 10　2018/3/20

「トランプ外交」の原則をめぐって

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授

No. 9　2018/2/13

トランプ政権の国家安全保障戦略と国家防衛戦略が示す現実主義と同盟国重視への回帰

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 8　2018/2/8

トランプの対中アプローチはどこまで変わるか（後編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 7　2018/2/7

トランプの対中アプローチはどこまで変わるか（前編）

森　聡
法政大学法学部教授

No. 6　2018/2/6

トランプ外交の一年：最悪事態は回避できたが...

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 5　2017/12/27

ヒルビリー・エレジー的言説がどうしても必要だった理由

中山　俊宏
慶應義塾大学総合政策学部教授

No. 4　2017/12/26

トランプ政権下で深まる政党内部の亀裂

渡辺　将人
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

No. 3　2017/12/11

ドリーマーと共和党の困惑

西山　隆行
成蹊大学法学部政治学科教授

No. 2　2017/12/6

税制改革法案でのトランプ大統領と共和党議会の距離

渡部　恒雄
笹川平和財団上席研究員

No. 1　2017/11/24

トランプのホワイトハウス: ケリーは秩序と規律を回復できるか？

久保　文明
東京大学大学院法学政治学研究科教授